

まえがき

「平成25年度学生生活実態調査報告書」を刊行いたしました。

この報告書は、平成25年9月21日から10月31日にかけて実施した調査を統計的に処理・分析し、その結果を概要やグラフ及び基礎集計表にまとめたものです。

この調査の目的は、本学学生の実生活実態を的確に把握することであり、正課教育や正課外教育の状況、課外活動やボランティア活動の実態、学生の福利厚生に関する基礎データを収集し、経年的に比較しつつ、教学上の施策や大学運営の参考資料とすることです。また、これらの資料は、学生の生活や教学面をサポートするための施策を迅速に立案し、実施するためには欠かせないものと考えています。

今年度の調査では、経年的な比較を要する調査項目は残しつつも、「アルバイト」「家計」「奨学金」等経済面に焦点を当てた調査項目を多く盛り込みました。また、昨年までは学部生のみを対象に調査をおこなってきましたが、今年度初めて大学院生も対象に含めた調査を実施致しました。この結果、学部生のみならず大学院生の学生生活及び経済事情も把握できるものになったと考えます。

社会のグローバル化や情報技術の急速な進歩によって、学生のニーズが変化するスピードは非常に速くなっており、学生の生活実態の多様化を感じざるを得ません。そのような状況では、本調査のみでは学生の意識を判断できかねる面もあり、今後さらなる調査内容・方法を検討する必要性を痛感します。

最後になりましたが、本調査に誠実に回答していただいた学生諸君のご協力に厚く感謝申し上げます。また、報告書を作成するにあたり、ご協力をいただいた関係者各位に心より御礼申し上げます。

平成26年3月31日

関西大学 学生センター所長
黒田 勇